



# カプコンが新しく クリエイティブスタジオをオープン

バイオハザードシリーズ、モンスターハンターシリーズ、ストリートファイターシリーズのカプコンが今年4月、大阪市内に「カプコン クリエイティブスタジオ」を稼働開始させた。

「カプコンのクリエイティブを支える」を目標に命名されたこちらのスタジオでは、現在中型のMスタジオ、日本最大級のサイズを誇るLスタジオという2箇所のモーションキャプチャースタジオが稼働している。既存のモーションキャプチャースタジオを合わせると3箇所になり、3スタジオ体制となる。

カプコンでは、これまでも社内にモーションキャプチャースタジオを保有していたが、2016年に2つ目のスタジオを新設してから数年が経過、ハードの進化や撮影規模の拡大により、スタジオに求められる課題が増加。

それらの課題を解決するため、モーションキャプチャースタジオの新設プロジェクトが開始したという。

場所は、カプコンの研究開発ビルから自転車で十数分のところに存在。もともとイベントホールだったということもあり、シャワールームなどの付帯設備も充実。その場に行かずにオンラインで撮影指示が出せるような設備も整っている。



カプコンのモーションキャプチャースタジオの課題

課題の一つめは、カメラ台数の不足だったという。ゲームハードの進化とともに、社内アニメーターから求められる撮影品質向上の要望が増加していた

指のモーションキャプチャーや多人数のキャプチャー撮影をする際に、今までのスタジオのスペック(36台のカメラ)では撮影範囲をカバーしきれず、精度の高い撮影が困難であった。

二つめの課題は、既存の大きいモーションキャプチャースタジオです ら手狭になってきたこと。

稼働開始当初は、十分な広さだったスタジオが、複数人数でのモーションキャプチャーや大道具を活用した撮影が増加。しかし、スタジオの広さは変わらず、大道具を保管する倉庫がなかったため、スタジオの撮影範囲へ大道具が侵食し、スタジオは「広いスタジオ」ではなく「もうちょっと広さがないと辛いスタジオ」になっていたとのこと。

最後の課題は、開発しているタイトルの繁忙期が複数タイトル重なる 時期が来ると、スタジオの撮影希望が殺到するが、二つのスタジオで は撮影予定日程の確保が出来ず、タイトルの求める必要な撮影量を まかないきれなかったこと。

# \_

# 撮影品質の向上

複数人数での撮影は少ないカメラ台数では、マーカーが隠れる部分が多く、カプコン社内アニメーターにデータを納品する前段階での編集コストが膨らんでいた。

しかし、クリエイティブスタジオでは、それぞれ 150 台、56 台の VICON 社製のカメラが設置されており、大幅に撮影精度が向上。複数人数での撮影がより容易となった。

また、カメラの精度が飛躍的に向上、前スタジオのスペックをはるかに上回り、指まで撮影したいタイトルが増加しているニーズに対応できる品質となっている。



©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED. ※シリーズ最新作のストリートファイター6のモーションキャプチャー確認画面

CAPCOM® X





# 撮影スペースの確保、RE ENGINE を活用した撮影

新スタジオでは撮影スペースが拡大しており、大道具を使用した 撮影も容易になっている。

また、カプコン社内製エンジンである『RE ENGINE』を使用し、実際のCGアセットを表示してリアルタイムで撮影する手法では、確認したいCG空間分の広さが必要となるが、今回のクリエイティブスタジオの広さがあれば十分に撮影範囲を確保できるため、これまで以上に広いCGアセットでも撮影が可能となり、より最終イメージに近い撮影手法でモーションキャプチャーができる部分が増えている。





# → クレッセント社と連携し、撮影規模・条件に合 → わせたスタジオを設計

『スタジオを2箇所設置する』といった目的があったため、ホール内に存在する大きめの倉庫やエントランスなどにモーションキャプチャースタジオを設置することができるかの検討をクレッセント社と、プロジェクトの初期段階から行っていた。

Mスタジオには、古いスタジオ にあった Vicon T-160 シリー



ズのカメラ18台を移設、38台のVantageカメラを増設して56台に、Lスタジオには、138台のVantageカメラとエリアの四隅に最新のValkyrieカメラ12台を配するなど、混在したカメラでも問題なく稼働できるようにシステムを構築。

カプコンのモーションキャプチャーに必要なスタジオ設計を行っているため、サイズ規模などに合わせた、最適なスタジオを実現できている。

# ■■■■■■■■■ スタジオ設備 ■■■■■■■■

#### ■Lスタジオ

収録エリア 15m X 11m X 高さ5m

カメラ Vicon Motion Systems 社製 Vicon Vantage

138台 Vicon Valkyrie 12台

映像 クレッセント社製 SyncVV スパイス社製 BUNSHIN ソフトウェア Vicon Shogun / Autodesk MotionBuilder / Faceware

Studio / RE Engine

# ■Mスタジオ

収録エリア 13m X 5m X 高さ3m

カメラ Vicon Motion Systems 社製 Vicon Vantage

38台 Vicon T-160 18台

ソフトウェア Vicon Shogun / Autodesk MotionBuilder / RE Engine

● 問い合わせ先:株式会社クレッセント 〒135-0042 東京都江東区木場3-14-8 03-5875-9707(TEL)/ 9708(FAX) ● 記載された会社および製品名は、各社の登録商標または商標です。